

抜粋

有限責任中間法人ブロードバンド推進協議会 オンライン詐欺に関するユーザー調査

監修 千葉大学 教授 阪田 史郎

BBAセキュリティ専門部会 野々下 幸治

協賛



はじめに

ワンクリック詐欺、フィッシング、スパイウェアなどの被害

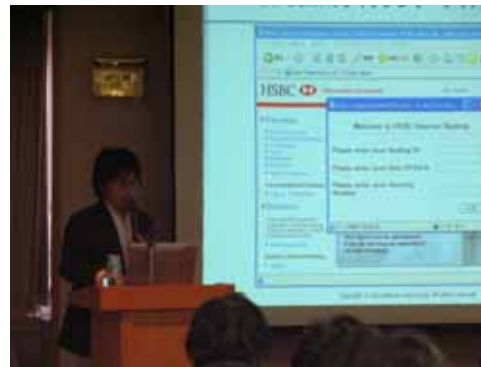
> 従来のネットワーク犯罪との違い

- ・コンピュータ技術だけでなく「社会的」な手口を活用していること
(ソーシャルエンジニアリング)
- ・特定の層に狙いを定めていること(スパイ型犯罪)
- ・明らかな金銭目的であること

> インターネットを利用するユーザーに大きな脅威に……

今後の対策を探るためにも

被害実態の把握が必要



2006年3月27日講演会「オンライン詐欺の脅威」
独立行政法人情報処理推進機構(IPA)
NPO日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)後援

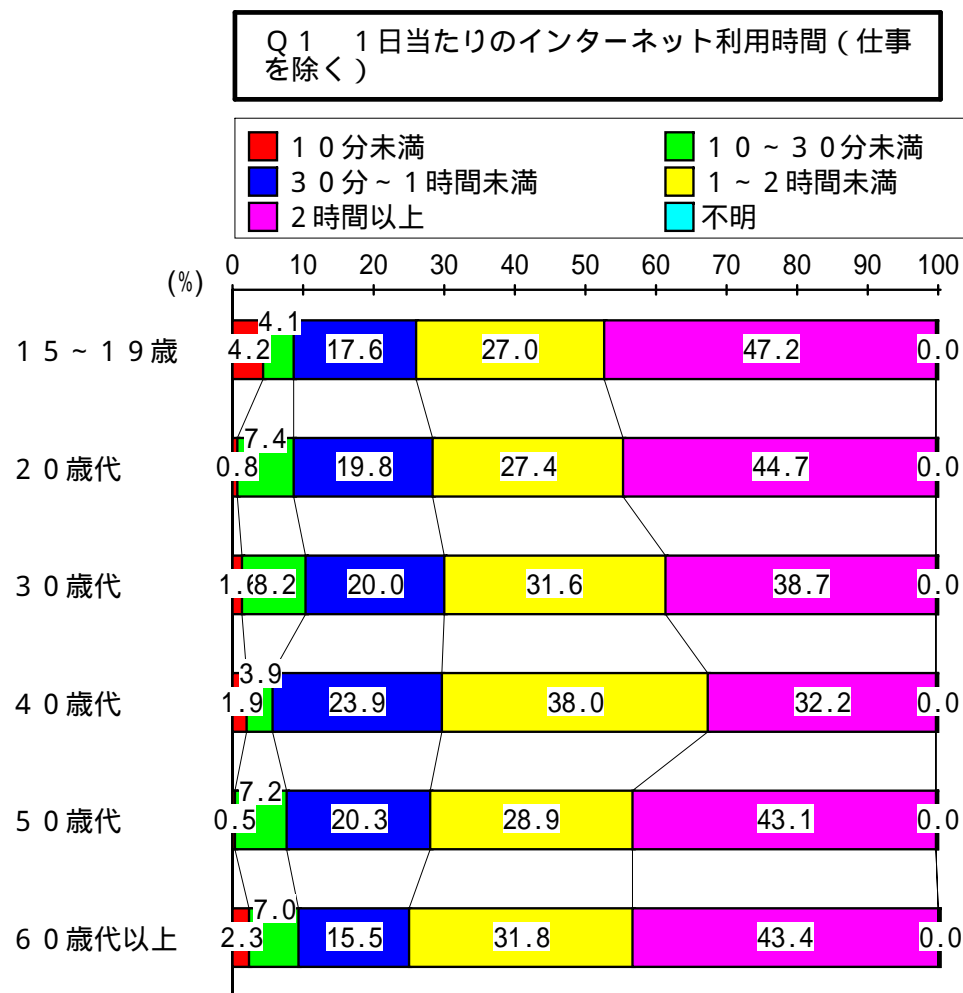
調査手法と調査対象

- インターネットの一般的利用層を対象とする一次調査と、被害者を対象とする二次調査の二段階の調査を実施。
- 一次調査 – 一般ユーザに対する調査
 - 調査地域: 全国
 - 抽出フレーム: Yahoo!リサーチモニター
 - 調査期間: 2006年7月11日 ~ 13日
 - 有効回答数: 1140
- 二次調査 – 被害者に対する調査
 - 調査地域: 全国
 - 抽出フレーム: Yahoo!リサーチモニター
 - 調査期間: 2006年7月21日 ~ 24日
 - 有効回答数: 479

調査対象のプロフィール

インターネットの利用時間

- 仕事以外のインターネット利用が1時間以上が約7割
- シニア層と若年層のインターネット利用時間が長い



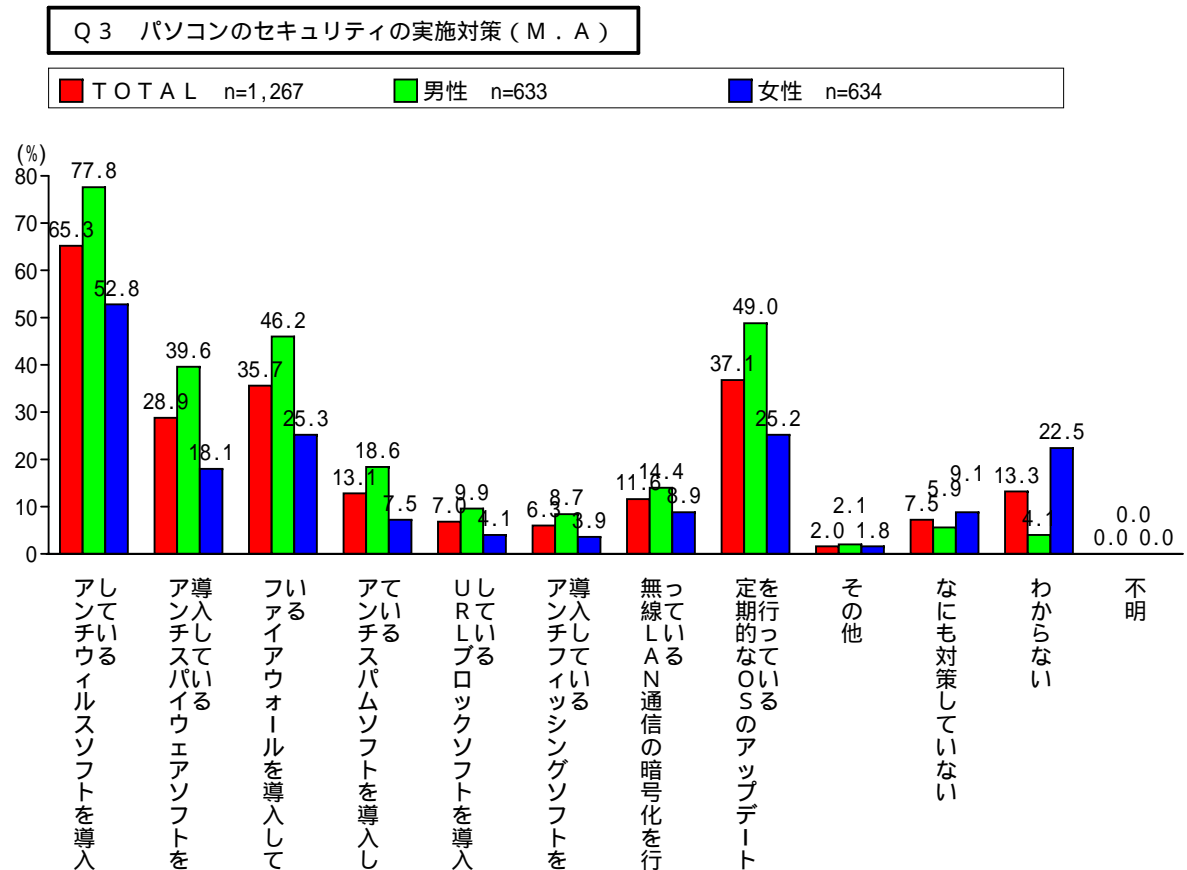
オンライン詐欺の定義

オンライン詐欺とは、不正なサイト、ソフトウェア、メールなどインターネットを通じた手段で、金銭を騙し取られたり、物理的・精神的な被害を蒙ることとする。

- ワンクリック詐欺
 - アダルトサイトを中心にマウスのクリックだけで、意図せず会員登録や課金登録をさせられ、不正に料金を請求される詐欺。
- フィッシング
 - 金融機関などのメールやWebサイトを装い、暗証番号やクレジットカード番号などを搾取する詐欺。
- オークション詐欺
 - インターネットオークションで架空の取引を成立させ、代金を騙し取る詐欺。
- 不正請求メール
 - 架空の請求内容のメールを一方向的に送りつけ、不正に料金を請求される詐欺。
- スパイウェアによる銀行・クレジットカード番号盗難での不正請求
 - 意図せずインストールされたスパイウェアにより、PCの個人情報やユーザー情報を盗難され、銀行引き落としやカード利用されること。

セキュリティ対策の状況

- 無償で行えるOSのアップデートが有償のアンチウイルスの導入より低い
- 女性および若年層のセキュリティ知識が低い傾向
- 30代、40代の男性は企業でのセキュリティ教育の効果が自宅の利用にも効果を与えている。



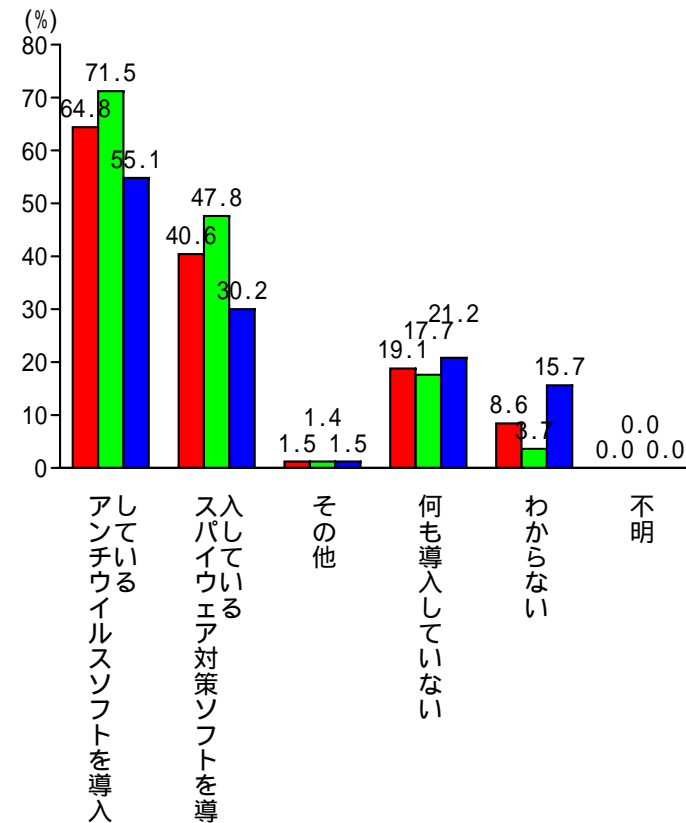
セキュリティ対策の状況

被害経験後

- スパイウェア対策製品の導入率の傾向を見ると一般女性ユーザは18.1%に対し、被害を経験した女性は30.2%と、女性について特に、被害経験後に対策を導入する傾向が高く出ている。

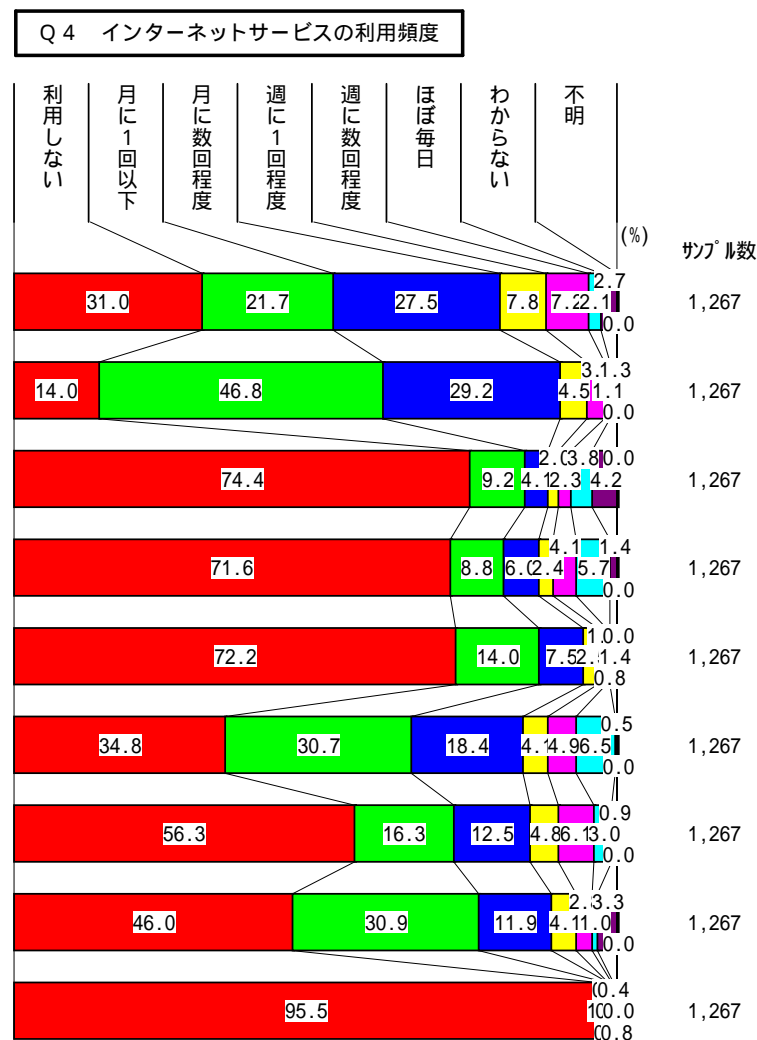
Q15 「スパイウェア」対策ソフト導入状況（M・A）【ベース：スパイウェア認知者】

■ TOTAL n=902 ■ 男性 n=532
■ 女性 n=370



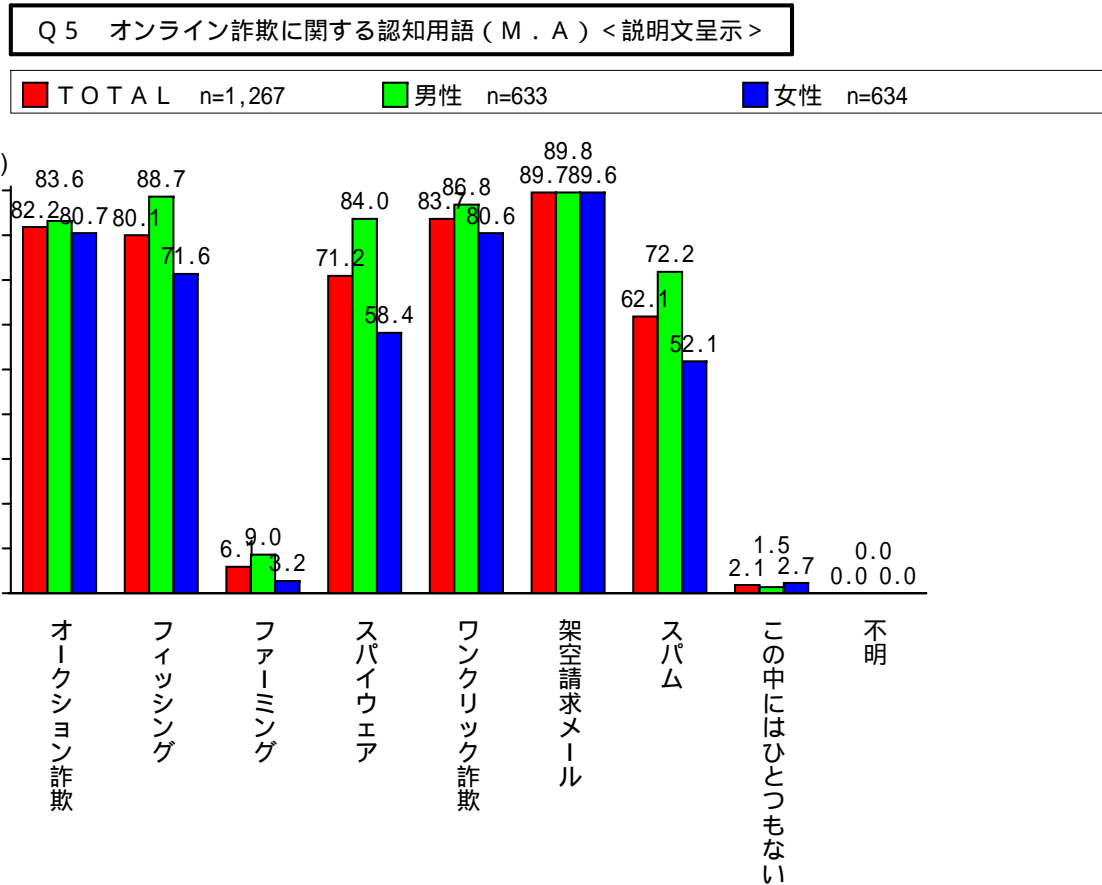
利用しているインターネットサービス

- オンラインショッピングやオンラインバンキング、ネットオークションなど金銭授受を伴うサービスは半数以上の人を利用
- 若年層においては金銭授受を行うサービスが低い反面、オンラインゲーム、動画配信サイトなどのコンテンツサービスを利用する傾向が高い



オンライン詐欺に関する認知度

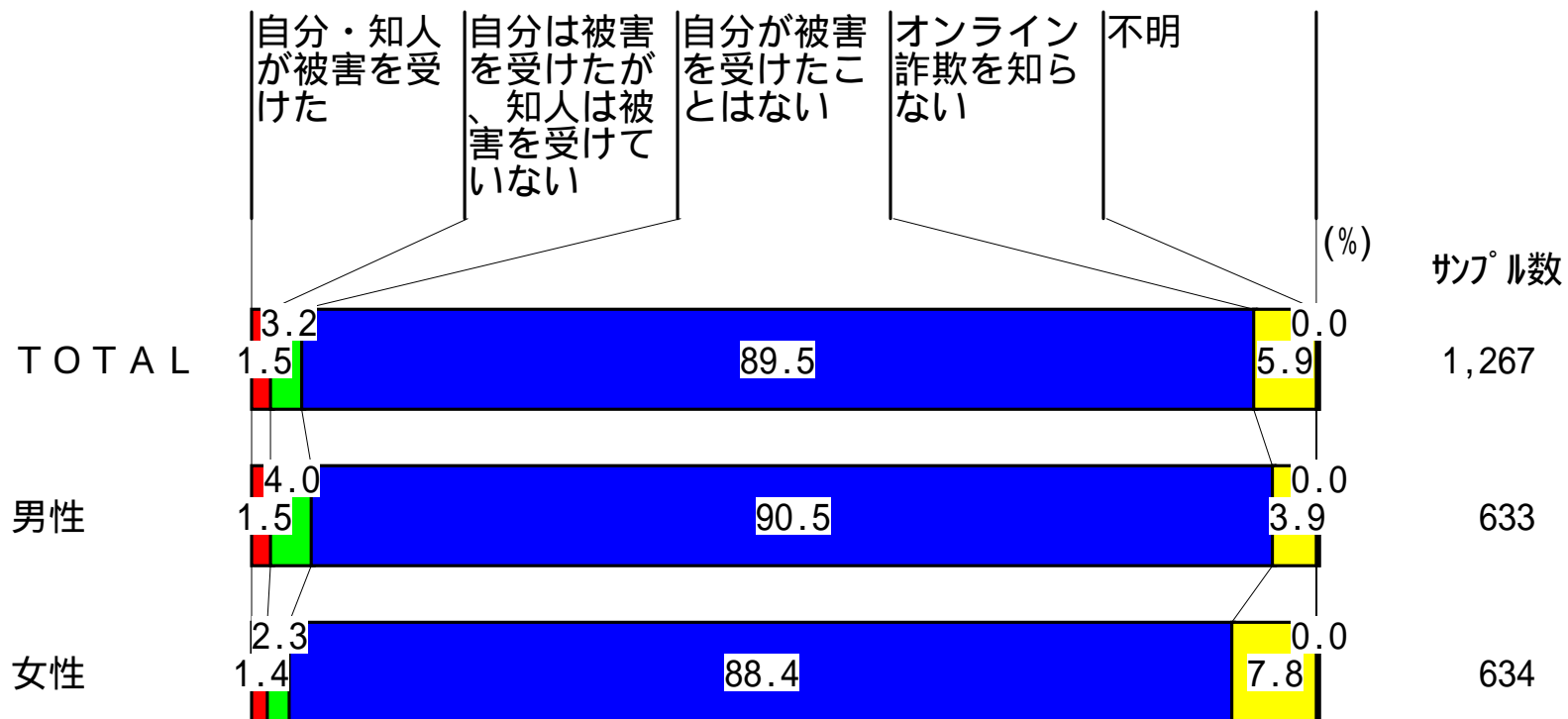
- ファーミングを除けば、全体的に高い用語認知率を示す。
- 30代、40代の層は仕事以外でのインターネットの利用率が低い傾向にもかかわらず、高い認知率を示し、企業におけるセキュリティ教育の影響が現れていると考えられる。



オンライン詐欺の認知・被害の経験

- インターネットユーザの4.7%がオンライン詐欺の被害を経験している

Q 6 オンライン詐欺の認知・被害の経験

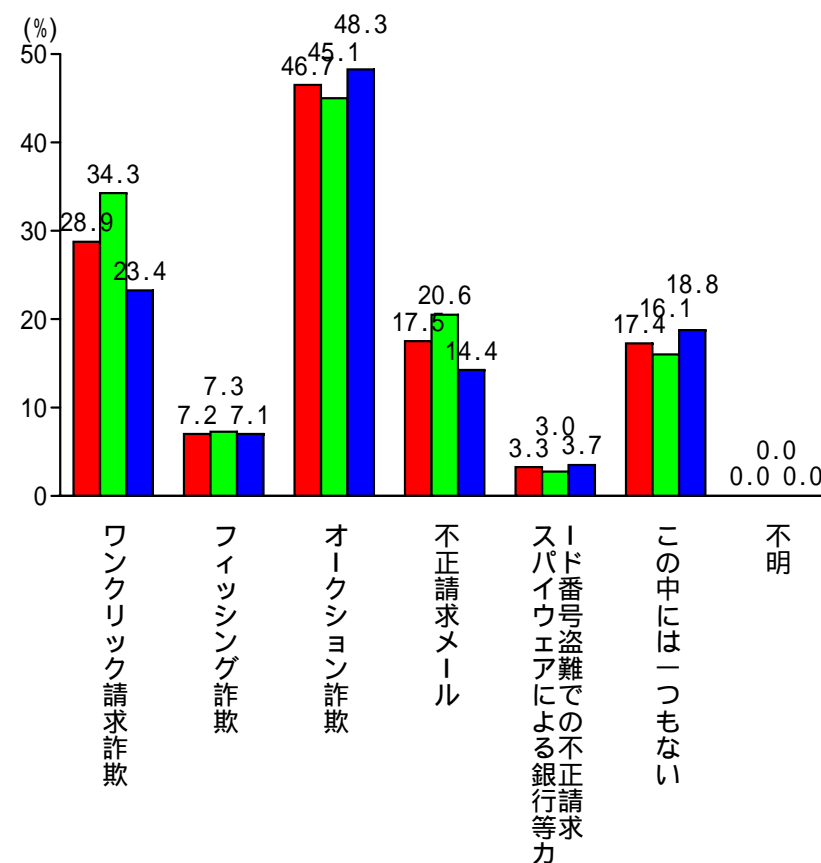


オンライン詐欺種類別被害経験

- オークション詐欺が46.7%と最も高い
- 28.9%で第二位のワンクリック請求詐欺は女性の23.4%に対し男性が34.5%とアダルトサイトを中心とした詐欺である傾向を推測できる

Q1 オンライン詐欺で実際に被害にあったもの (M・A)

■ TOTAL n=490
■ 男性 n=247
■ 女性 n=243



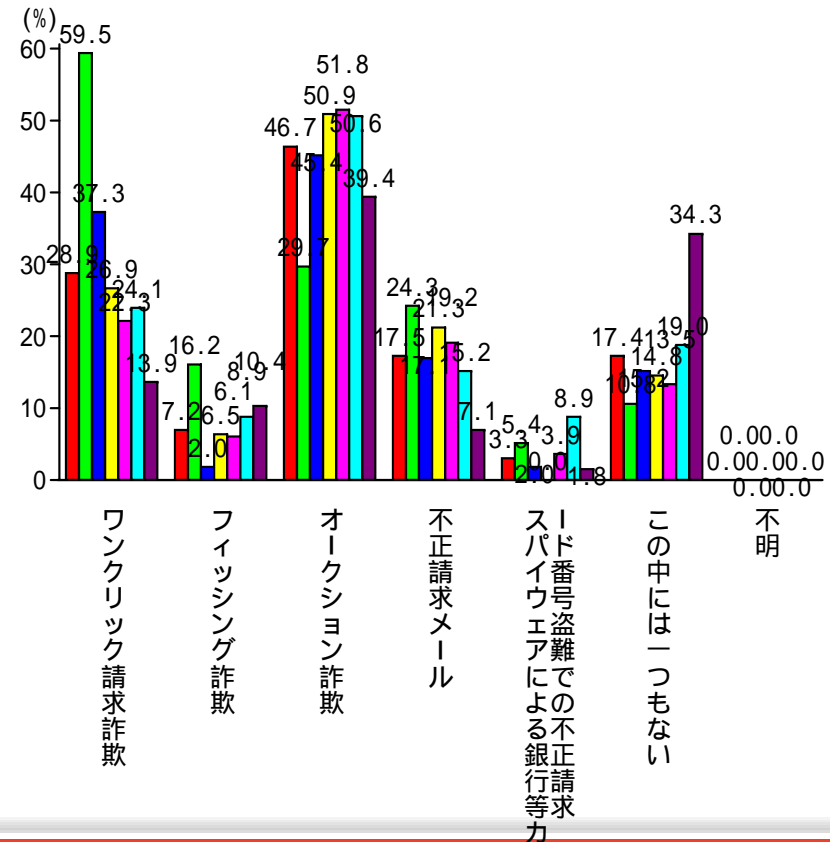
オンライン詐欺種類別被害経験

世代別傾向

- 15-19歳でのワンクリック詐欺の被害が59.5%と突出している。
- オークション詐欺は30歳代(50.9%)、40歳代(51.8%)が被害が多い層で、若年層の被害は少ない

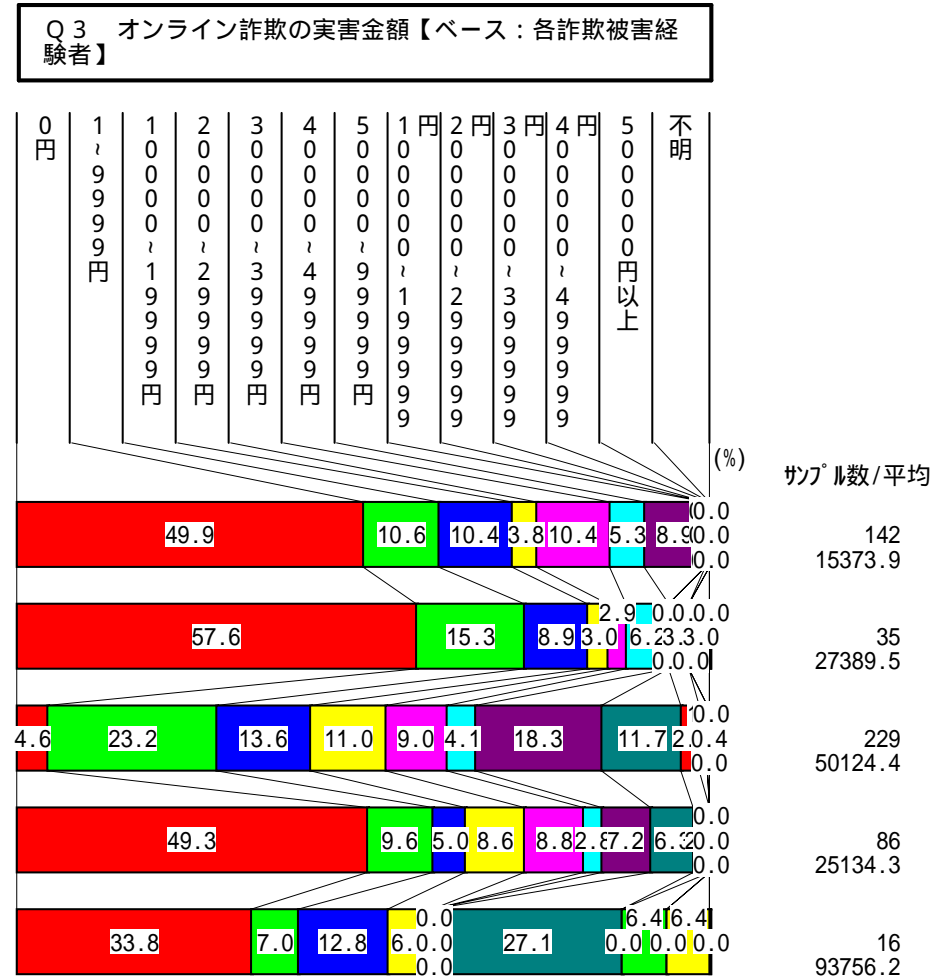
Q1 オンライン詐欺で実際に被害にあったもの(M・A)

■ TOTAL n=490	■ 15~19歳 n=42
■ 20歳代 n=101	■ 30歳代 n=112
■ 40歳代 n=92	■ 50歳代 n=83
■ 60歳代以上 n=61	



オンライン詐欺の実害金額

- ワンクリックを含む不正請求の詐欺について半数が実際の金銭的被害を被っている。
- 実害金額の平均額
 - カード番号盗難: 93,756円
 - オークション: 50,124円
 - フィッシング: 27,389円
 - 不正請求メール: 25,134円
 - ワンクリック: 15,373円

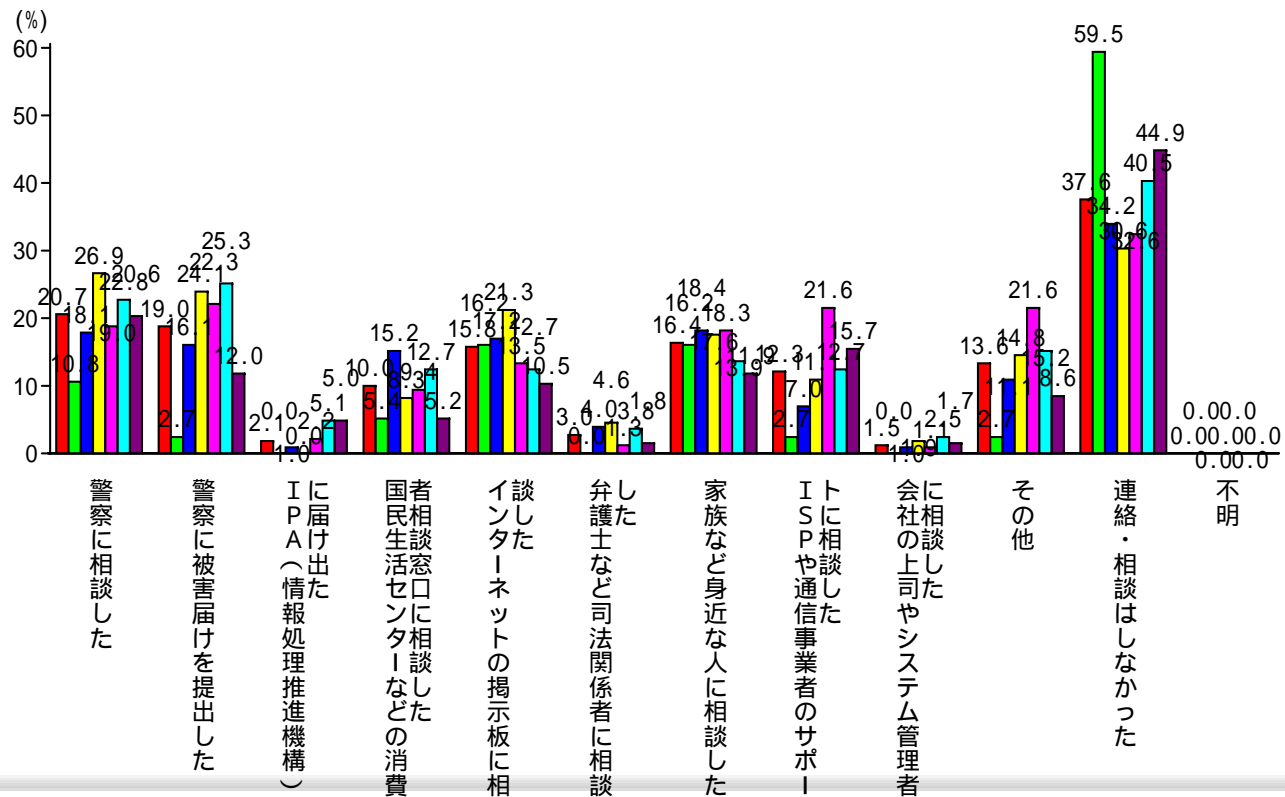


オンライン詐欺被害後の連絡先、相談先

- 15-19歳は「連絡・相談はしなかった」が59.5%と半数以上が相談できていない

Q 6 オンライン詐欺の被害後にした連絡・相談先 (M . A)

■ TOTAL n=490	■ 15～19歳 n=42	■ 20歳代 n=101	■ 30歳代 n=112
■ 40歳代 n=92	■ 50歳代 n=83	■ 60歳代以上 n=61	

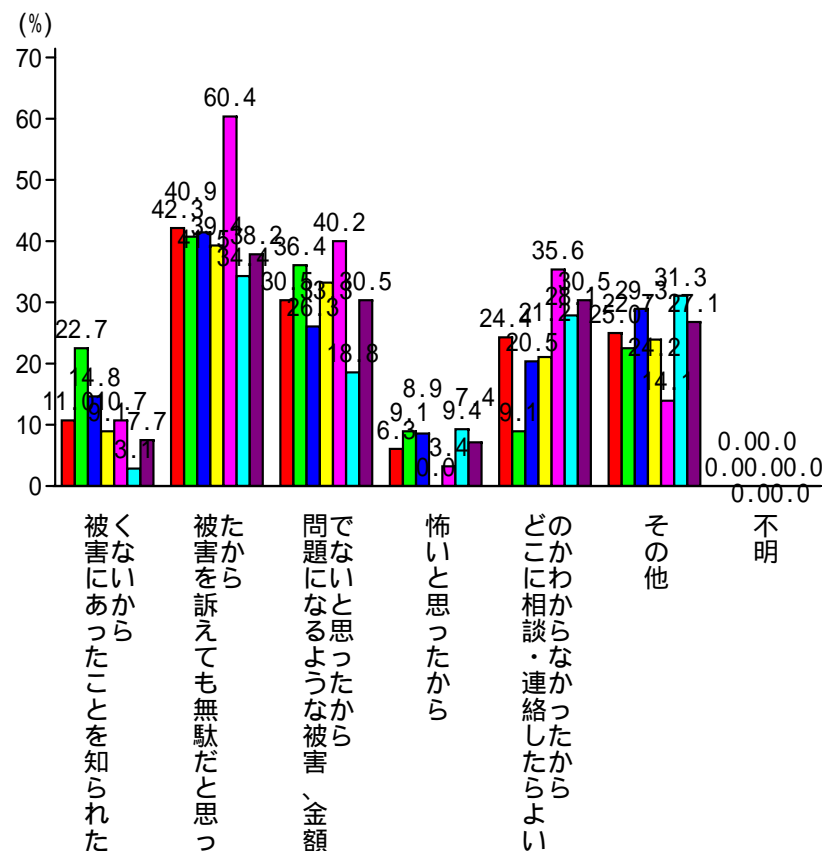


被害後の相談・連絡をしなかった理由

- 40歳代は「無駄だと思った」が60.4%と、半数以上があきらめている。
- 15-19歳は「被害にあったことを知られたくないから」が22.7%と平均(11.0%)の倍と詐欺に会ったことを恥ずかしく感じている傾向が高い。

Q 8 オンライン詐欺の被害の相談・連絡をしなかった理由 (M・A) 【ベース：連絡・相談してない人】

TOTAL n=184	15～19歳 n=25
20歳代 n=35	30歳代 n=34
40歳代 n=30	50歳代 n=33
60歳代以上 n=27	



調査結果からいえること

- 日本のインターネットユーザのセキュリティ対策は米国に比べ遅れている。
- 日本のインターネット利用人口7,270万人の4.7%が何らかのオンライン詐欺に遭っており、その総額は1304億円。
- オンライン詐欺の一回の被害金額はオークション詐欺を除けば、30,000円以下と小額であるため、泣き寝入りの傾向にある。
- 15-19歳はインターネットの利用時間が多いにもかかわらず、オンライン詐欺に関する十分な情報を得ていないため、詐欺に掛かりやすい傾向があり、今後この若年層に対してのオンライン詐欺についての教育が課題である。
- 「ワンクリック詐欺」の日本における被害者の推定は約101万人、被害金額の推定は156億円

調査概要

有限責任中間法人ブロードバンド推進協議会
セキュリティ専門部会

監修

千葉大学 情報通信ネットワーク工学教育研究分野
教授 阪田 史郎

協賛 ウェブルート・ソフトウェア株式会社
株式会社インターネット総合研究所
クロスランゲージ株式会社
インテージ・インタラクティブ株式会社
(順不同)

- ・調査対象 Yahoo!リサーチモニター
- ・調査方法 WEBアンケート形式
- ・調査期間 2006年7月
- ・有効回答 一次調査 (一般対象) 1140
二次調査 (被害者対象) 479

調査内容

一次調査 利用環境、利用サービス、オンライン詐欺の認知と
経験、オンライン詐欺の対策等
二次調査 詐欺種類別被害経験、被害金額、被害後の対応等

**今回の発表内容は、一部抜粋になります。
全30問属性別の詳細な調査結果につきましては、BBA会員企業に提供のほか
一般の方に有償にて配布いたします。詳しくは、事務局までお問い合わせください。**

お問合せ先 有限責任中間法人 ブロードバンド推進協議会 事務局
〒105-7304東京都港区東新橋1-9-1
電話番号 03-6889-1215
E-mail info@bba.or.jp
URL <http://www.bba.or.jp/>

<ul style="list-style-type: none"> 1. 調査の背景と目的 2. 調査の概要 3. 調査の定義と用語 4. 調査 <ul style="list-style-type: none"> 4.1 一般ユーザーに対する調査(一次調査) <ul style="list-style-type: none"> 4.1.1 インターネットの利用時間 4.1.2 利用環境(パソコンのOS) 4.1.3 セキュリティ対策 4.1.4 利用しているインターネットサービス 4.1.5 オンライン詐欺に関する認知 4.1.6 オンライン詐欺の被害経験 4.1.7 オンライン詐欺に対する意識 4.1.8 オンライン詐欺に対する対策 4.1.9 フィッシングの認知 4.1.10 フィッシングの被害経験 4.1.11 フィッシングの対策 4.1.12 スパイウェアの認知 4.1.13 スパイウェアの被害経験 4.1.14 スパイウェアの被害(現象) 4.1.15 スパイウェア対策ソフトの導入 4.1.16 その他のスパイウェア対策 4.1.17 ワンクリックウェアの認知 4.1.18 アドウェアの認知 4.1.19 フリーウェア・シェアウェアの利用 4.1.20 オンラインゲームでの不正行為・認知 <ul style="list-style-type: none"> 4.1.21 オンラインゲームの不正行為対応 4.2 被害者に対する調査(二次調査) <ul style="list-style-type: none"> 4.2.1 オンライン詐欺 種類別被害経験 4.2.2 オンライン詐欺 種類別被害回数 4.2.3 オンライン詐欺 種類別被害金額 4.2.4 オンライン詐欺 個人情報の盗難 4.2.5 オンライン詐欺 被害後にした連絡、相談先 4.2.6 オンライン詐欺 被害後の相談・連絡後の経過 4.2.7 オンライン詐欺 被害の相談・連絡しなかった理由 4.2.8 オンライン詐欺 被害後行ったパソコンや インターネットの設定、利用 4.2.9 オンライン詐欺 被害の実態(自由回答) 5. オンライン詐欺 被害の推定 6. 総括 	<p>本編目次(全86ページ)</p>
--	---------------------